

道東自動車道シンポジウムin厚岸

11月12日、社会福祉センターにおいて、厚岸や根室への高速道路建設早期実現に向け、沿線地域の連携強化を図ることを目的に『道東自動車道シンポジウムin厚岸』が開催され、約700人が来場しました。基調講演では、釧路公立大学の下山朗准教授が『高速道路を活かした地域活性化のススメ』と題した講演を行い、その後、宮田昌利氏、木村訓氏、赤石美枝子氏、加藤裕之氏の4人によるパネルディスカッションが行われ、高速道路が地域に果たす役割と効果についての理解を深めました。



みやた まさとし
宮田 昌利 氏
(釧路根室圏まちとくらしネットワークフォーラム 座長)

地域から情報発信を

阿寒インターの延伸で来年の3月以降は人の流れが本格的に変わってくると考えます。厚岸、浜中、根室まで行きやすくなる。白糠インター開通の数のインパクトがあるはずですが、そのインパクトを作るのは私たちがどのようなアクションをしていくのかとい

流れを大切に

高速道路開通の期待は大いにあります。道路は一番大切に感じています。地域が活性化するためには、いろいろな考え方があってもいいように地域が活性化していくかを、みんなで相談していくしかないと考えます。そして



きむら さとし
木村 訓 氏
(厚岸水産物買受組合 組合長)

うことです。2、3年前からは、繋がってくる道東道に向けて、釧路・根室の魅力を発信していこうとする動きが盛んになってきました。でも、それでも足りないと考えます。我々に問われているのは、我々が何をやるのかということです。地域の中からインターネットを通してPRする。美味しい食べ物やおすすめの場所とか、どんどんと情報を発信していくことが大事です。地元の人たちが知恵を出し合い、みんなで協力して、自信を持って私たちの地域を、それぞれの良さをPRしていきましょう。

て、良いことはみんなでやろうと一つになることも必要です。みんな勝手なことばかり言っていたら、まともでない。好きなことを言うのもいいですが、責任を持って言うことが大事です。厚岸の物は他の所よりここが違うと、理由付けする説明力が大事で、説明力がつけば面白い。上手に説明ができる、相手に理解してもらえ、食べたいと思えば、厚岸に来る。この流れを作ることがとても大事だと考えます。道路から始めましょう。道路が良くなればいろいろ勝ちやすい。そして活性化しやすくなります。

基調講演



しもやま あきら
下山 朗 氏(釧路公立大学准教授)

阿寒インターの開通は、明るい話題としてニュースで流れていますが、一過性で終わりがねない可能性もあります。高速道路を作るのであれば、それを活用して、よりよい釧路根室地域を作るためにはどうしたらいいか。果たして全ての地域が同じように活性化するか、道東道の可能性について一緒に考えていきましょう。

でお金が回る仕組みをどうしたらいいのかが考えていく必要があります。道路ができる、移動しやすくなる。来ることが楽になれば、逆に行くことも楽になる。実は高速道路ができたらバンザイと言うことではありません。地域経済の活性化には、あくまでも地域の取り引きや地域内の取り引きが増える何かが必要です。観光という面だけ考えても、他とは違う何かが必要になります。それは、我々が考えるべき最低限の人口だと考えます。釧路根室はものすごい期待にあふれています。十勝は「オール十勝」と言っていますが、釧路根室も負けないだけの素材、さまざまな多様性がある。それを生かすためにどうすればいいのか。私は別の研究で、根室の活性化が釧路の活性化に繋がるといふレポートを出しています。釧路根室は相互依存関係にあります。お互いの活性化のために、お互いが頑張れば良いということですが、これは、すごく当たり前だけども難しい。阿寒インターが開通することで、釧路港への輸送ルートの道路環境が改善され、物流が効率化し、釧路・十勝圏の新たな物流ルートの形成と、産業的な効率化が図られることが期待されています。厚岸の観光を考えると、観



あかいし みえこ
赤石 美枝子 氏
(一般社団法人釧路根室地区トラック協会 理事)

人口減少にも歯止めを

白糠インターが開通して、労働時間の短縮や改善、また定速走行による燃費の改善等がされ、本当に良くなりました。昔は峠を走らせて、天気が悪いときは電話が鳴るたび心配していましたが、今はほとんど高速道路を使っているで、そういう部分では安心

差別化したPRを

先に高速道路が開通した十勝ですが、オール十勝での取り組みには非常に感心しました。これから私たちも道東道延伸にあたって、地域のネットワークを構築して、どんなPRしていかなければならないと考えます。



かとう ひろゆき
加藤 裕之 氏
(厚岸味覚ターミナル・コンキリエ 取締役支配人)

できるようになりました。また、人や文化の交流が増えることで、必ず物流が増加するのではないかと考えていて、その効果を期待したいと思っています。高速道路ができる、便利になりますが、入ってくるだけでなく、出ていく人も多くなる。そこをどうやって抑えるのが課題だと考えます。地域の産業がもつとつと力をつけて、若い人を雇用できて地域で結婚をし、子どもを産んで、人口減少にも歯止めをかける。そのためには、地域のブランド力のPRが大事になってくると考えま

若い人の知恵とセンスを生かし、インターネットをうまく活用して、この地域の点を面としてPRしていければいいのかなと考えます。『食』がこの地域には点在していますので、地域の魅力を上手に発信することによって、『人』を集客できる可能性がこの地域にはあると思います。また、国内のみならず国外にも自信を持ってPRしていきたいと考えます。インターネットにより、他の地域と差別化したPRがこれから大切だと考えています。これを軸として、この地域に来てもらえる環境を整えたいと思います。



光客数は2011年を期に、若干、回復傾向にあります。その要因は道外客です。ほとんどが通過型観光なので、車を利用する可能性が高い。「厚岸まで近い。根室までもうちょっとで行けるよね」という足を伸ばしてもらおうためのアピールができています。高速道路をどのように生かしたらいいかを、きちんと考える必要があります。この地域には札幌とは違う課題があり、その課題を解決するために地域で考えることよって、地域全体の産業を強くし、魅力を作っていくものと考えます。釧路根室のネットワークの効果あるのは『面』としての効果、産業の多様性、商品の多様性、一方で非常に冷涼な良い気候を、『面』としての釧路根室の魅力を生かしています。